

記載例(申込書)

申込書の記載例(P. 1)

(参考様式)

新市場開拓に向けた水田リノベーション事業 取組計画書

締切：令和4年〇月〇日()

※ 必要事項を記入して、営農計画書を提出している地域農業再生協議会等に提出してください。

〇〇〇〇農業再生協議会長 殿

1. 申込者 必須

フリガナ	イナダ イクオ
氏名又は法人・組織名	稲田 育男
フリガナ	
代表者氏名(法人・組織のみ)	
住所	(〒〇〇〇-〇〇〇〇) □□県××郡△△町1-2-3

2. 取組品目・面積 必須

▽ 事業で取り組む品目に✓を入れてください。

▽ 令和3、4年度作付面積、令和4年度事業取組面積は、㎡単位で、小数点以下切り捨ての数値を記載してください。

▽ 高収益作物に取り組む場合は、具体的な品目を記載してください。

なお、高収益作物については、水田活用の直接支払交付金の産地交付金による地域農業再生協議会等が令和4年度に支援を予定している品目が対象ですので、事前に地域農業再生協議会の申請書をご確認ください。

▽ 令和3年度作付面積、令和4年度作付面積については、事業の取組品目以外でも取り組む(した)場合はご記入ください。

チェック欄 ※事業の取組品目に✓を入れて下さい	品目	令和3年度	令和4年度	令和4年度事業取組	
		作付面積 (㎡)	作付面積 (㎡)	面積※ (㎡)	出荷・販売 契約数量 (kg)
✓	新市場開拓用米	4,000	25,000	20,000	10,000
✓	加工用米	1,000	2,000	1,500	810
	麦 【新市場開拓向け】	0	0		
✓	【加工向け】	0	3,000	1,500	675
	大豆 【新市場開拓向け】	0	0		
✓	【加工向け】	10,000	20,000	15,000	2,550
	高収益作物 【新市場開拓向け】	0	0		
	品目:				
	品目:				
	高収益作物 【加工・業務用】	1,000	3,000	2,000	9,000
✓	品目: 玉ねぎ	1,000	3,000	2,000	9,000
	品目:				
✓	子実用とうもろこし	0	500	500	300
	合計:	16,000	20,000		

※令和4年度の作付面積と本事業取組面積は異なる場合があります。

「令和4年度事業取組 面積」欄には、低コスト生産等の取組を各品目で確実に3つ以上行う予定の面積(=支援対象面積)であって、実需者との契約取引に基づく出荷・販売数量に相当した面積を記載してください。

・提出する協議会名を記載

・申請者の氏名、住所等を記載する。
・法人、集落営農の場合は代表者の記載も必要。

・✓を入れる(取り組む品目)のは、今回助成を申請する品目。

・令和3年度及び令和4年度作付面積は、今回助成を申し込まない品目でも、作付をする(した)場合は記入する(ポイント算定に必要)。

・麦、大豆の新市場開拓向けとしては、例えば輸南向けの麦・大豆のほか、輸南向けの味噌や醤油などの加工品原材料として作付する場合に該当する。

・生産した麦、大豆の用途(新市場開拓向け又は加工向け)が分からない場合は、出荷・販売する集出荷業者や実需者等に確認する。

・品目毎の令和4年度事業取組面積は、実需者との取引契約に基づき出荷・販売する数量相当の面積を地域の合理的な単収(※)を用いて算定する。

※新市場開拓用米や加工用米については、営農計画書の記載に当たって用いている単収と合わせる。
麦、大豆、高収益作物については、地域又は農業者の直近5年間のうち、最大値・最小値を除いた3年間の平均単収。

・高収益作物に取り組む場合は、具体的品目を記載する(なお、水田活用の直接支払交付金の産地交付金によって地域農業再生協議会等が令和4年産に支援を予定している品目が対象)。

申込書の記載例(P. 2)

3. 実需者※との契約の有無について 必須

※ 本事業における実需者とは、加工等を行う食品製造事業者や外食・中食業者のほか、輸出を代行する輸出事業者等です。

▽ 取り組む品目毎に、(1)～(3)について該当する場合、具体的な実需者名((2)には、集出荷業者等名も併せて)を必ず記載してください。また、高収益作物については、具体的な品目も記載してください。

▽ 添付書類として、集出荷業者等や実需者との販売契約書の写しや、契約を締結する計画等を提出してください。

		新市場 開拓用米	加工用米	麦 〔新市場開 拓向け〕	麦 〔加工 向け〕	大豆 〔新市場開 拓向け〕	大豆 〔加工 向け〕	高収益作物 〔新市場開 拓向け〕	高収益作物 〔加工・ 業務用〕	子実用 〔とうもろこ し〕
								品目名 〔 〕	品目名 〔玉ねぎ〕	
(1) 直接、実需者と販売契約 を締結している又は締結 する計画を有している場合、 実需者名を右欄に記載	実需者名	株式会社 〇〇 全農イン ターナシ ョナル	株式会社 〇〇 全農イン ターナシ ョナル							
(2) 集出荷業者〔JAや卸売業 者〕等と出荷契約を締結 し、その集出荷業者等が 実需者と販売契約を締結 している又は締結する計 画を有している場合、集 出荷事業者名と実需者名 を右欄に記載	集出荷業者等名						JA □□			
	実需者名						株式 会社 ××			
(3) 産業者〔申込者〕が直 接、加工等を行っている など、実需者の役割を兼 ねている場合、加工等の 取組内容を右欄に記載	加工等の取組内容								・皮むき、 芯抜き等の 処理 ・カット等 の一次加工	

上記表で実需者名等の欄が不足するなどの場合には以下に記載してください。

その場合、品目も併せて記載してください。

新市場開拓用米：株式会社△△

・高収益作物については、具体的な品目を記載する。

・取り組む品目毎に、必ず(1)、(2)又は(3)に該当している必要があるほか、必ず実需者名等を記載する。

・(1)及び(2)には、具体的な実需者名((2)には、集出荷業者等名も併せて)、(3)には、加工等の具体的な取組内容を必ず記載する。

・集出荷業者等や実需者との販売契約書の写しや、契約を締結する計画等について、当該申込書の提出時に添付が必要。

・実需者名が分からない場合は、集出荷業者等に確認する。

・上記表で実需者名等が書ききれない場合は、残りをこちらの欄に記載する。

申込書の記載例(本年度から新たに取り組む品目の場合)

4. 実施する取組 ※ 品目毎に3つ以上の取組メニューに✓を入れて下さい

(2-2) 表(加工向け)に取り組む方は記載 選択

▽令和2年度第3次補正予算 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業の対象となった方は、以下□に✓を入れて下さい
また、昨年度取り組んだ取組メニューについても、以下表の「R2年度補正予算」欄で✓を入れて下さい

□ 一令和2年度第3次補正予算 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業の対象となった方はチェック願います

番号	取組メニュー	表(加工向け)		※昨年度と同じ取組メニューを選択する場合のみ記載 ①低コスト生産等の取組面積を拡大する旨、または、 ②同じ取組メニューの中で昨年度より高い効果が見込まれる取組(高度な手法やより高い数値目標への取組等)を実施する旨、をご記載下さい
		R2年度 補正予算 (前年度事業)	R3年度 補正予算 (本年度事業)	
1	融雪促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	新たに導入した品種に応じた栽培管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	ふく土・踏圧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	雑防除雑草対策	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	生育予測システムを活用した開花期・収穫期予測	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
6	効率的・効果的な施肥	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	重要病害虫の防除	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	排水対策管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9	農業機械の共同利用	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
10	スマート農業機器の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	地域特認メニュー (○○の実施)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
12	地域特認メニュー ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

・取り組む品目毎に、確実に実施する取組メニューを3つ以上選択して✓を入れる。
・実際に行った取組メニューが3つ以上となるよう、ほ場の状況等により作業が不要となる可能性のある取組メニューを選択する際は注意すること。
(例えば、ドローンによる追加防除を実施する予定で「15 スマート農業機器の活用」を選択していたが、棒除の必要性がなくて実施せず、結果として取組数が3つ未満となった場合は、助成要件を満たさないこととなる。)
・取組メニュー毎の取組基準については、別表参照のこと。

・都道府県農業再生協議会が地域特認メニューを設定する場合は、それを選択することも可能。

申込書の記載例(取り組まない品目の場合)

4. 実施する取組 ※ 品目毎に3つ以上の取組メニューに✓を入れて下さい

(2-1) 麦(新市場開拓向け)に取り組む方は記載 選択

▽令和2年度第3次補正予算 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業の対象となった方は、以下 に✓を入れて下さい
また、昨年度取り組んだ取組メニューについても、以下表の「R2年度補正予算」欄で✓を入れて下さい

←令和2年度第3次補正予算 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業の対象となった方はチェック願います

・本事業で取組を実施しない品目は、記載不要。

番号	取組メニュー	麦(新市場開拓向け)		※昨年度と同じ取組メニューを選択する場合は記載 ①低コスト生産等の取組面積を拡大する旨、または、 ②同じ取組メニューの中で昨年度より高い効果が見込まれる取組(高度な手法により高い数値目標への取組等)を実施する旨をご記載下さい
		R2年度 補正予算 (昨年度事業)	R3年度 補正予算 (本年度事業)	
1	融雪促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	新たに導入した品種に応じた栽培管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	ふく土・踏圧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	雑防除雑草対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	生育予測システムを活用した開花期・収穫期予測	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	効率的・効果的な施肥	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	重要病害虫の防除	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	排水対策管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9	農業機械の共同利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10	スマート農業機器の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	地域特認メニュー ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12	地域特認メニュー ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

申込書の記載例(P. 13)

5. 確認欄 (以下の□に✓を入れ、署名をしてください) 必須

- 国の他の助成事業(水田麦・大豆産地生産性向上事業等の令和4年産に係る事業(水田活用の直接支払交付金のうち産地交付金及び水田農業高収益化推進助成は除く))で支援を受けている又は受ける予定となっている取組は選択しておらず、補助金等の重複受給はありません。
- 本事業で支援を受けた水田の面積については、令和4年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成(加工用米、麦・大豆、飼料作物(子実用とうもろこし))及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分(新市場開拓用米)の対象面積から除外されることについて了承します。
- 取組を実施しても、採択審査の結果、助成対象とならない場合があることについて了承します。
- 出荷・販売契約書や出荷・販売伝票等の証拠書類を令和5年度から5年間保管し、地域農業再生協議会や地方農政局等からの求めがあった場合には、提出します。
- 以下の場合には、補助金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。

- ・本計画書に基づく内容において、虚偽の申請をしたことが判明した場合
- ・正当な理由なく、本計画書に記載した対象作物を作付けていないことが判明した場合
- ・本計画書に記載した対象作物について、必要な出荷・販売契約等の締結をしていないこと、適切な作付け・肥培管理・収穫等が行われていないことや、正当な理由なく、出荷・販売をしていないこと、その他交付要件を満たす取組が行われていないことが判明した場合
- ・必要書類が保管されておらず、要件を満たすことが確認できない場合や提出を拒む場合
- ・地域農業再生協議会等による適正な事業執行等のための調査に応じない場合

上記確認内容に同意すること、助成対象となった場合には、確実に取組を実施するとともに、取組の結果報告を行うことを誓約します。

令和 ○年 ○月 ○○日 氏名 稲田 育男

・5つの確認項目をよく読んで、同意できる場合はそれぞれ✓を入れる。

・左記の誓約事項に同意できる場合は、日付を記載し、署名を行う。